



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場会社名 株式会社 フェイス

上場取引所 東

コード番号 4295 URL <http://www.faith.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 平澤 創

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者

(氏名) 佐伯 浩二

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

TEL 075-213-3933
平成23年12月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	29,787	△21.8	1,084	6.6	1,154	6.6	6,148	985.1
23年3月期第2四半期	38,081	44.7	1,016	36.0	1,082	56.9	566	258.9

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 6,442百万円 (872.3%) 23年3月期第2四半期 662百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	5,355.72	—
23年3月期第2四半期	493.58	488.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	23,528	19,169	81.3
23年3月期	32,726	14,544	39.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 19,137百万円 23年3月期 12,897百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
24年3月期	—	50.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,560	△60.1	1,150	△46.0	1,280	△42.2	6,300	433.1	5,487.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社ウェブマネー
(注) 詳細は、添付資料P.4「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
(注) 詳細は、添付資料P.4「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	1,196,000 株	23年3月期	1,196,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	47,950 株	23年3月期	47,950 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	1,148,050 株	23年3月期2Q	1,148,050 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算短信補足説明資料の入手方法)

四半期決算短信補足説明資料は、本日当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

平成22年に市場が本格化したスマートフォンは平成23年3月期に年間出荷台数850万台を突破し、平成24年3月期には、年間出荷台数が2,100万台に到達すると共に、出荷されるモバイル端末の過半数がスマートフォンになると予測されております。また、タブレット端末についても、平成26年には600万台を超えると予想される等、今後スマートデバイスの市場拡大傾向は続くものと予想されております。

一方で、新たなインターネット接続端末の急速な浸透にともない、ユーザーニーズの多様化と、新たなマーケットにおけるサービスやアプリケーションの膨大化が進んでおります。コンテンツ市場においても、SNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）やソーシャルゲーム、動画共有サイト等、情報端末やサービスの多様化にともない、アプリケーションやコンテンツの複雑化がさらに加速しており、ユーザーニーズに柔軟に対応できる新たなコンテンツ流通のしくみの創出が求められております。

このように多様化する市場環境において、当社グループは、優れたコンテンツを創出し、コンテンツやユーザーの特性に最適な「コンテンツ流通のしくみ」を迅速に構築・提供すべく、『マルチコンテンツ&マルチプラットフォーム戦略（様々なコンテンツを、必要なときに、必要な場所で楽しむことができる環境の創造）』のもと事業を進めております。

また、日本の音楽、映像、ファッションそしてアーティスト、クリエイターを世界に向けて発信する場として、Future SEVENを最大限に活用すると共に、当社グループである日本コロムビア株式会社、株式会社フェイス・ワンダワークス、株式会社フューチャーレコーズ等との連携による「新たな音楽流通のしくみ」を実現する等、グループ企業間のシナジーを高め、音楽を軸にしたコンテンツ流通のしくみ創りに更に注力してまいります。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、連結子会社であった株式会社ウェブマネーを連結除外したこともあり、前年同期比21.8%減の29,787百万円となりましたが、営業利益は前年同期比6.6%増の1,084百万円、経常利益は前年同期比6.6%増の1,154百万円となりました。また、株式会社ウェブマネーの株式を売却したこと等による特別利益を6,991百万円計上した結果、四半期純利益は前年同期比985.1%増の6,148百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<コンテンツ事業>

「新たなコンテンツ流通のしくみ創り」と「新たな事業基盤の構築」に努めました。

将来有望なアーティストやクリエイターに飛躍の場を提供し、音楽、ファッション、アート、映画、映像等を世界中に7カ国語でライブ配信することが可能な、当社のショールームであるFuture SEVENを、当社南青山オフィスの1階に開設いたしました。当社グループが持つ全てのソリューションを集約することで、当社グループが提唱する、優れたコンテンツをあらゆる方法でユーザーに提供する「新・360°戦略」を推進してまいります。

その具体策のひとつとして、音楽・映像作品の企画、制作、プロデュースおよび、ファンクラブ運営、ライブイベント等の制作、管理を行う株式会社フューチャーレコーズを平成23年9月7日に日本コロムビア株式会社との合弁で設立いたしました。当社グループは、引き続き「Future」ブランドをグループの「音楽コンテンツ流通」の旗印とすると共に、日本コロムビア株式会社が持つ強力な販売チャネルを活用することで、多様化・複雑化が加速するユーザーニーズに対し最適な音楽を最適な形で届ける「新たな音楽流通のしくみ」を創出してまいります。

また、赤外線やQRコードを使用せず、5～10文字のお互いに決めた合言葉を入力するだけで、スマートフォン間もしくはスマートフォン・フィーチャーフォン間で、最大5人まで連絡先を簡単に交換可能な、世界初の複数アドレス同時交換アプリ「AddressSwitch（アドレススイッチ）」の配信を開始し、幅広いユーザーの利便性向上に努めております。

以上の結果、コンテンツ事業の売上高は、着信メロディ事業の減収等により、前年同期比14.1%減の3,274百万円となりましたが、営業利益はコスト削減等が寄与し前年同期比36.7%増の557百万円となりました。

<電子マネー事業>

電子マネー事業の主力であるオンラインゲーム市場は拡大を続け、電子マネー「WebMoney」の決済額は、順調に推移いたしました。

なお、電子マネー事業を営んでおりました株式会社ウェブマネーについて、同社株式を平成23年7月に売却し、第2四半期連結会計期間から連結除外しているため、同事業の業績は第1四半期連結累計期間と同額となっております。

以上の結果、電子マネー事業の売上高は、前年同期比23.6%減の25,717百万円となり、営業利益は前年同期比25.4%減の430百万円となりました。

<その他>

その他の事業については、ポイントカードシステム事業収入等により、売上高は前年同期比34.2%増の795百万円となり、営業利益は前年同期比155.1%増の94百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(財政状態の分析)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて9,198百万円減少し、23,528百万円となりました。主としてのれん償却額の計上によりのれんが減少し、さらに連結子会社であった株式会社ウェブマネーを連結除外したことにより、受取手形及び売掛金、投資有価証券等が減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて13,823百万円減少し、4,358百万円となりました。主として法人税等の計上により未払法人税等の増加があったものの、連結子会社であった株式会社ウェブマネーを連結除外したことにより、支払手形及び買掛金、利用原価引当金等が減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて4,625百万円増加し、19,169百万円となりました。配当金の支払いや、連結子会社であった株式会社ウェブマネーを連結除外したことによる少数株主持分の減少があったものの、主として四半期純利益の計上が増加したこと等によるものであります。これにより、自己資本比率は41.9ポイント増加して、81.3%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3,800百万円減少し、6,521百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益8,065百万円から関係会社株式売却損益6,819百万円を控除し、さらに仕入債務の増加による2,490百万円を加算し、売上債権の増加による1,236百万円を控除したこと等により、前年同期比10.5%減少の2,450百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入が1,270百万円あったものの、定期預金の預入による支出が7,260百万円あったこと等により、5,956百万円の支出（前年同期は776百万円の収入）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出が199百万円、配当金の支払額が56百万円あったため、282百万円の支出（前年同期は1,886百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。なお、現時点での通期の業績予想につきましては、平成23年8月10日に修正いたしました数値に変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において、株式会社ウェブマネーは株式を売却したため連結の範囲から除外し、株式会社フューチャーレコーズは新たに設立したため連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,001,893	13,192,137
受取手形及び売掛金	8,356,029	1,237,212
有価証券	339,676	538,771
商品及び製品	3,110	1,631
仕掛品	1,038	1,038
原材料及び貯蔵品	8,892	8,845
繰延税金資産	344,125	278,514
その他	368,465	340,474
貸倒引当金	△49,258	△30,404
流動資産合計	21,373,972	15,568,221
固定資産		
有形固定資産	2,893,215	3,057,097
無形固定資産		
のれん	435,363	57,764
その他	371,487	347,020
無形固定資産合計	806,851	404,785
投資その他の資産		
投資有価証券	7,405,341	4,403,153
その他	396,115	182,656
貸倒引当金	△148,792	△87,776
投資その他の資産合計	7,652,664	4,498,033
固定資産合計	11,352,731	7,959,916
資産合計	32,726,703	23,528,137
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,948,110	199,776
短期借入金	399,984	399,984
未払法人税等	390,631	1,635,287
利用原価引当金	4,835,100	—
ポイント引当金	230,979	221,442
賞与引当金	77,608	97,850
その他	882,358	598,789
流動負債合計	16,764,771	3,153,130
固定負債		
長期借入金	1,133,368	933,376
繰延税金負債	183,204	163,883
退職給付引当金	91,824	102,496
その他	8,909	5,314
固定負債合計	1,417,306	1,205,070
負債合計	18,182,078	4,358,200

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,218,000	3,218,000
資本剰余金	3,708,355	3,708,355
利益剰余金	6,556,212	12,647,441
自己株式	△651,377	△651,377
株主資本合計	12,831,189	18,922,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	268,011	239,335
為替換算調整勘定	△201,693	△23,812
その他の包括利益累計額合計	66,317	215,522
少数株主持分	1,647,118	31,995
純資産合計	14,544,625	19,169,937
負債純資産合計	32,726,703	23,528,137

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	38,081,980	29,787,892
売上原価	32,813,640	25,645,715
売上総利益	5,268,339	4,142,176
販売費及び一般管理費	4,251,686	3,057,951
営業利益	1,016,652	1,084,225
営業外収益		
受取利息	4,830	7,878
受取配当金	2,784	3,392
有価証券利息	23,187	11,565
持分法による投資利益	124,170	65,997
雑収入	4,218	3,495
営業外収益合計	159,191	92,329
営業外費用		
支払利息	21,997	8,573
為替差損	36,567	12,186
貸倒引当金繰入額	30,018	—
雑支出	4,667	1,472
営業外費用合計	93,250	22,232
経常利益	1,082,592	1,154,322
特別利益		
固定資産売却益	1,061	—
投資有価証券売却益	—	28,795
関係会社株式売却益	—	6,899,538
貸倒引当金戻入額	3,669	—
その他	—	63,000
特別利益合計	4,731	6,991,334
特別損失		
固定資産処分損	38	1,059
投資有価証券評価損	9,125	—
関係会社株式売却損	—	79,565
持分変動損失	11,537	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	17,253	—
特別損失合計	37,954	80,625
税金等調整前四半期純利益	1,049,369	8,065,031
法人税等	283,997	1,771,504
少数株主損益調整前四半期純利益	765,372	6,293,527
少数株主利益	198,721	144,895
四半期純利益	566,650	6,148,632

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	765,372	6,293,527
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△69,492	△28,415
持分法適用会社に対する持分相当額	△33,271	177,619
その他の包括利益合計	△102,764	149,204
四半期包括利益	662,608	6,442,731
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	463,886	6,297,836
少数株主に係る四半期包括利益	198,721	144,895

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,049,369	8,065,031
減価償却費	129,172	136,857
のれん償却額	508,805	184,481
貸倒引当金の増減額(△は減少)	34,640	△32,472
賞与引当金の増減額(△は減少)	17,326	20,242
利用原価引当金の増減額(△は減少)	929,940	405,173
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△24,358	△9,536
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10,944	10,672
移転損失引当金の増減額(△は減少)	△205,720	—
受取利息及び受取配当金	△7,614	△11,271
有価証券利息	△23,187	△11,565
支払利息	21,997	8,573
為替差損益(△は益)	13,538	11,933
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△28,795
投資有価証券評価損益(△は益)	9,125	—
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△6,819,973
持分法による投資損益(△は益)	△124,170	△65,997
持分変動損益(△は益)	11,537	—
固定資産売却損益(△は益)	△1,061	—
固定資産処分損益(△は益)	—	1,059
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	17,253	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,011,489	△1,236,134
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,893	△33
仕入債務の増減額(△は減少)	1,544,879	2,490,926
未収消費税等の増減額(△は増加)	45,594	—
未払消費税等の増減額(△は減少)	35,859	△73,278
その他	110,322	△229,874
小計	3,096,597	2,816,020
利息及び配当金の受取額	30,793	17,003
利息の支払額	△21,997	△8,573
法人税等の還付額	20,583	3,881
法人税等の支払額	△388,231	△377,558
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,737,745	2,450,772

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,110,000	△7,260,000
定期預金の払戻による収入	1,900,000	1,270,000
有価証券の取得による支出	—	△199,590
有形固定資産の取得による支出	△211,413	△293,494
有形固定資産の売却による収入	5,510	—
ソフトウェアの取得による支出	△25,358	△92,519
投資有価証券の売却による収入	—	29,636
関係会社株式の取得による支出	—	△79,997
関係会社株式の売却による収入	—	197,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	414,654
貸付金の回収による収入	339	60
敷金の回収による収入	217,420	2,984
その他	△15	54,853
投資活動によるキャッシュ・フロー	776,481	△5,956,412
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,843,552	△199,992
少数株主からの払込みによる収入	43,031	—
配当金の支払額	△56,827	△56,788
少数株主への配当金の支払額	△29,376	△25,801
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,886,724	△282,582
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24,544	△11,933
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,602,959	△3,800,156
現金及び現金同等物の期首残高	8,340,635	10,321,601
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,943,594	6,521,445

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コンテンツ	電子マネー	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,811,591	33,677,330	37,488,921	593,058	38,081,980	—	38,081,980
セグメント間の内部売上高又は振替高	164,526	1,200	165,726	—	165,726	△165,726	—
計	3,976,117	33,678,530	37,654,647	593,058	38,247,706	△165,726	38,081,980
セグメント利益	407,579	577,163	984,743	37,050	1,021,794	△5,141	1,016,652

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ポイントサービス提供事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△5,141千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コンテンツ	電子マネー	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,274,731	25,717,225	28,991,957	795,935	29,787,892	—	29,787,892
セグメント間の内部売上高又は振替高	54,291	400	54,691	—	54,691	△54,691	—
計	3,329,022	25,717,625	29,046,648	795,935	29,842,583	△54,691	29,787,892
セグメント利益	557,347	430,774	988,121	94,502	1,082,623	1,601	1,084,225

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ポイントサービス提供事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額1,601千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。